

# 岩手県の東日本大震災津波からの復興に関する意識調査

このたびの東日本大震災津波によって、被害に遭われた皆さまや関係者の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

この「岩手県の東日本大震災津波からの復興に関する意識調査」は、県民の皆さまが、震災からの復興への取組について、どの程度重要だと感じ、どの程度満足しているかなどについてご意見を伺うものです。

県では、県民の皆さまのご意見を取り入れながら、復興に向けた施策を引き続き展開していきたいと考えております。

お手数とは存じますが、調査へのご協力をお願いいたします。

なお、この調査の結果については、今年の4月頃に速報版、6月頃に報告書を公表する予定としており、岩手県復興局のホームページでもご覧になれます。

## お願い

- このアンケート調査には、調査票をお送りした封筒に書かれた**あて名のご本人**が  
お答えください。（ただし、ご本人様が長期不在などでお答えできないご事情がある  
場合には、ご本人様に代わって、ご家族の方などがご自身の立場でお答えくださ  
い。）
- この調査は、無記名でお願いします。回答はすべて統計的に処理され、調査票は  
集計後、焼却します。**秘密の保護には万全を期しますので、ありのままをお答えく  
ださい。**
- お答えは、できる限り黒または青色の鉛筆・ペン・ボールペンでお願いします。
- お答えは、直接この調査票にお書きいただき、同封の返信用封筒（切手不要）に  
入れて、**平成24年2月20日（月）**までにご投函くださるようお願いいたします。
- なお、同封の返信用封筒に記載の整理番号は、回答数が少なく調査の信頼性を確  
保できない場合に、未回答の方に改めて調査へのご協力をお願いするとき使用する  
もので、回答者個人の回答内容を把握する趣旨のものではございません。

この調査について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



<調査主体>

岩手県 復興局 企画課

電話：019-629-6945 メール：AJ0002@pref.iwate.jp

この調査業務は岩手県から委託を受けた(株)建設技術研究所が発送、回収をしています。

## 1 調査の目的

岩手県では、平成23年8月に「岩手県東日本大震災津波復興計画」を策定しました。

この調査は、「復興計画」の目指す姿である「いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造」の実現に向け、県民の皆さまのご意見をお伺いし、復興に向けた施策に活かしていくために行うものです。

## 2 調査の構成と記入の方法

- ・ ご回答は、あらかじめ設けている選択肢のあてはまる数字に○印をつけてください（この調査票の所定の欄に直接ご記入ください。）
- ・ ご回答は、全ての項目についてお願いいたします。
- ・ 問3、問4及び問5（9ページ～17ページ）において、ご回答が困難な項目については、「わからない」とし、数字の「0」に○印をつけてください。

### 記入例

ここでは、問5（14ページ）の場合を例示しています。

(2) 次に、震災により大きな被害を受けた地域の復旧・復興に向けた取組に関連する項目についてお伺います。

震災により大きな被害を受けた地域にお住まいの方は、あなたの身のまわりを見回してみて、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

それ以外の方は、震災により大きな被害を受けた地域の状況などを思い浮かべてみて、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

調査項目	あなたから見た重要度 (各調査項目について1つずつ選び、番号に○をつけてください。)						あなたの復旧・復興の実感 (各調査項目について1つずつ選び、番号に○をつけてください。)					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	進んでいると感じる	やや進んでいると感じる	どちらともいえない	やや遅れていると感じる	遅れていると感じる	わからない
「安全」の確保 1 防潮堤や防波堤などの整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
2 JRや三陸鉄					1	0						

#### ◇「あなたから見た重要度」の記入例

現在のあなたにとって、「1 防潮堤や防波堤などの整備」がどれくらい重要であるかをお答えいただくものです。

この例では、「やや重要である」とする場合の例示をしていますので、数字の「4」に○を付けます。

#### ◇「あなたの復旧・復興の実感」の記入例

あなたから見て、「1 防潮堤や防波堤などの整備」がどれくらい復旧・復興していると感じているかをお答えいただくものです。

この例では、「遅れていると感じる」場合の例示をしていますので、数字の「1」に○を付けます。

このページから調査票になります。

## 問1 「あなた」や世帯の状況について

現在の「あなた」ご自身のことについておたずねします。該当する番号に○をつけてください。

(1) 性別 (○は1つ)

1 男性

2 女性

(2) 年齢 (満年齢) (○は1つ)

1 20～29歳

2 30～39歳

3 40～49歳

4 50～59歳

5 60～69歳

6 70歳以上

(3) あなたの主なご職業は何ですか (○は1つ)

1 自営業主

2 家族従業者

3 会社・団体役員

4 常用雇用者※1

5 臨時雇用者※2 (パート、アルバイトなど)

6 学生

7 専業主婦 (主夫)

8 無職

9 その他 (具体的に： )

(※1：期間を決めずに又は1年を超える期間で雇われる人)

(※2：日々又は1年以内の期間で雇われる人)

1～5に○をつけられた方のみお答えください。

その業種は何ですか。(○は1つ)

1 農業、林業

2 漁業

3 鉱業、採石業、砂利採取業

4 建設業

5 製造業

6 電気・ガス・熱供給・水道業

7 情報通信業

8 運輸業、郵便業

9 卸売、小売業

10 金融業、保険業

11 不動産業、物品賃貸業

12 学術研究、専門・技術サービス業

13 宿泊業、飲食サービス業

14 その他のサービス業

15 公務

16 その他 (具体的に： )

(4) あなたの世帯構成はどのようになっていますか。(○は1つ)

- |   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| 1 | ひとり暮らし                              |
| 2 | 夫婦のみ                                |
| 3 | 2世代世帯(親と夫婦、夫婦と子どもなど)                |
| 4 | 3世代世帯(親と夫婦と子ども、夫婦と子どもと孫、祖父母と親と夫婦など) |
| 5 | その他(具体的に: _____)                    |

(5) あなたのお子さんは、何人いますか。(同居・別居は問いません)

- |   |    |   |      |   |         |
|---|----|---|------|---|---------|
| 1 | 1人 | 2 | 2人   | 3 | 3人      |
| 4 | 4人 | 5 | 5人以上 | 6 | 子どもはいない |

1～5に○をつけられた方のみお答えください。  
あなたのお子さんは、次のどれにあてはまりますか。(該当する番号すべてに○をつけてください)

- |   |                           |   |           |
|---|---------------------------|---|-----------|
| 1 | 小学校入学前(乳幼児を含む)。           | 2 | 小学生       |
| 3 | 中学生                       | 4 | 高校生       |
| 5 | 高校を卒業し専門学校、短大、大学、大学院等に在学中 |   |           |
| 6 | 学校教育終了で同居                 | 7 | 学校教育終了で別居 |
| 8 | その他(具体的に: _____)          |   |           |

(6) あなたは岩手県に住んで何年(通算して何年)になりますか(○は1つ)。

- |   |          |   |        |   |         |
|---|----------|---|--------|---|---------|
| 1 | 1年未満     | 2 | 1～5年未満 | 3 | 5～10年未満 |
| 4 | 10～20年未満 | 5 | 20年以上  |   |         |

(7) あなたが今お住まいの市町村はどこですか。(○は1つ)

県央地域	1 盛岡市	2 八幡平市	3 雫石町	4 葛巻町
	5 岩手町	6 滝沢村	7 紫波町	8 矢巾町
県南地域	9 花巻市	10 北上市	11 遠野市	12 一関市
	13 奥州市	14 西和賀町	15 金ヶ崎町	16 平泉町
沿岸地域	17 宮古市	18 大船渡市	19 陸前高田市	20 釜石市
	21 住田町	22 大槌町	23 山田町	24 岩泉町
	25 田野畑村			
県北地域	26 久慈市	27 二戸市	28 普代村	29 軽米町
	30 野田村	31 九戸村	32 洋野町	33 一戸町
県外	34 青森県	35 秋田県	36 宮城県	
	37 その他 (		)	

(8) あなたの今のお住まいの居住形態は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1 持ち家（一戸建て、長屋建て）
2 持ち家（マンションなどの集合住宅）
3 民間の賃貸住宅・マンション、間借り
4 公営・公社・公団などの賃貸住宅
5 給与住宅（社宅・寮など）
6 応急仮設住宅
7 親戚・知人宅
8 その他
（具体的に： _____ )

## 問2 東日本大震災津波の影響について

平成23年3月11日に発生した地震及び津波、その後断続的に発生した余震による被害についておたずねします。該当する番号に○をつけてください。

(1) **震災時**にあなたがお住まいだった市町村はどこですか。(○は1つ)

県央地域	1 盛岡市 5 岩手町	2 八幡平市 6 滝沢村	3 雫石町 7 紫波町	4 葛巻町 8 矢巾町
県南地域	9 花巻市 13 奥州市	10 北上市 14 西和賀町	11 遠野市 15 金ヶ崎町	12 一関市 16 平泉町
沿岸地域	17 宮古市 21 住田町 25 田野畑村	18 大船渡市 22 大槌町	19 陸前高田市 23 山田町	20 釜石市 24 岩泉町
県北地域	26 久慈市 30 野田村	27 二戸市 31 九戸村	28 普代村 32 洋野町	29 軽米町 33 一戸町
県外	34 青森県 37 その他 (	35 秋田県	36 宮城県	)

(2) あなたのお住まいの状況についてお伺いします。

① **震災時**のあなたのお住まいの居住形態は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1 持ち家 (一戸建て、長屋建て)
2 持ち家 (マンションなどの集合住宅)
3 民間の賃貸住宅・マンション、間借り
4 公営・公社・公団などの賃貸住宅
5 給与住宅 (社宅・寮など)
6 親戚・知人宅
7 その他
(具体的に： )

② **震災**によりあなたのお住まいに被害はありましたか。(○は1つ)

1 被害があった

2 被害はなかった

③ ②の質問で「1 被害があった」方のみお答えください。  
あなたのお住まいについて、現時点でどのような対応を取られましたか。  
(○は1つ)

1 震災時と同じ場所に住んでいる (修理や建て替えを含む)

2 震災時とは別の場所で住宅を建て替えて住んでいる

3 震災時とは別の場所で民間の賃貸住宅 (公的機関による家賃補助あり)  
に住んでいる

4 震災時とは別の場所で民間の賃貸住宅 (公的機関による家賃補助なし)  
に住んでいる

5 震災時とは別の場所で公営・公社・公団などの賃貸住宅に住んでいる

6 応急仮設住宅に住んでいる

7 親戚・知人宅に住んでいる

8 その他

(具体的に : )

(3) あなたのご職業についてお伺いします。

① **震災時**のあなたのご職業は何ですか。(○は1つ)

1 自営業主	2 家族従業者
3 会社・団体役員	4 常用雇用者※1
5 臨時雇用者※2 (パート、アルバイトなど)	
6 学生	7 専業主婦 (主夫)
8 無職	
9 その他 (具体的に :	)

※1 : 期間を決めずに又は1年を超える期間で雇われる人

※2 : 日々又は1年以内の期間で雇われる人

1～5に○をつけられた方のみお答えください。

その業種は何ですか。(○は1つ)

1 農業、林業	2 漁業
3 鉱業、採石業、砂利採取業	4 建設業
5 製造業	6 電気・ガス・熱供給・水道業
7 情報通信業	8 運輸業、郵便業
9 卸売、小売業	10 金融業、保険業
11 不動産業、物品賃貸業	
12 学術研究、専門・技術サービス業	
13 宿泊業、飲食サービス業	14 その他のサービス業
15 公務	
16 その他 (具体的に :	)



② あなたの主なご職業は、震災で変化しましたか。(○は1つ)

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1 震災前と同じ仕事を続けている   | 2 震災が原因で転職、転業した |
| 3 震災とは関係なく転職、転業した  | 4 震災が原因で退職、廃業した |
| 5 震災とは関係なく退職、廃業した  | 6 震災前から職についていない |
| 7 今は職に就いているが震災前は無職 |                 |
| 8 その他              |                 |

(具体的に： )

(4) 震災であなたの同居するご家族に被害はありましたか。(○は複数可)

- |                         |
|-------------------------|
| 1 亡くなられた、行方不明となったご家族がいる |
| 2 負傷したご家族がいる            |
| 3 被害なし                  |
| 4 その他                   |

(具体的に： )

### 問3 生活全般の満足度について

- (1) あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。  
あなたの気持ちに近いものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

1つ選び、番号に○をつけてください。					
満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
5	4	3	2	1	0

- (2) 今の生活全般の満足度は1年前（震災前）と比較して、どのように変化しましたか。

1つ選び、番号に○をつけてください。					
よい方向に変化した	どちらかといえよよい方向に変化した	変化はない	どちらかといえよ悪い方向に変化した	悪い方向に変化した	わからない
5	4	3	2	1	0

## 問4 全般的な復旧・復興の実感などについて

(1) **岩手県全体**をみて、震災からの復旧・復興が進んでいると感じますか。

あなたの復旧・復興の実感 (1つ選び、番号に○をつけてください。)					
感じる 進んでいると	やや進んでいると 感じる	どちらともいえない	やや遅れていると 感じる	遅れていると 感じる	わからない
5	4	3	2	1	0

(2) **あなたがお住まいの市町村**をみて、震災からの復旧・復興が進んでいると感じますか。

なお、震災時にお住まいだった市町村から転居されている方は、**震災時にお住まいだった市町村**の状況について、お答えください。

あなたの復旧・復興の実感 (1つ選び、番号に○をつけてください。)					
感じる 進んでいると	やや進んでいると 感じる	どちらともいえない	やや遅れていると 感じる	遅れていると 感じる	わからない
5	4	3	2	1	0

(3) **あなた自身の現在の生活**は、震災の影響をどの程度受けていますか。

あなたの影響の実感 (1つ選び、番号に○をつけてください。)					
影響を受けている	やや影響を受けている	どちらともいえない	あまり影響を受けていない	影響を受けていない	わからない
5	4	3	2	1	0

## 問5 具体的な復旧・復興の実感について

岩手県では、平成23年8月に「岩手県東日本大震災津波復興計画」を策定しました。

復興計画では、科学的・技術的な知見に立脚したうえで、再び津波により人が亡くなることのない、より安全で暮らしやすい地域を創りあげるため、復興の目指す姿を「いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造」としています。

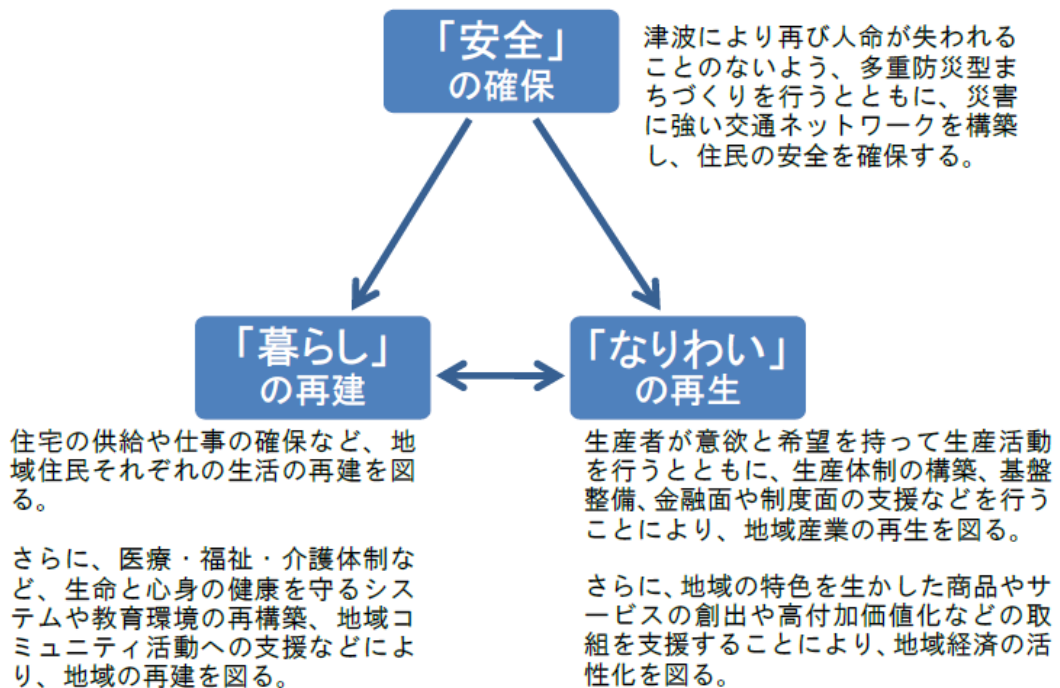
### いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造

#### 復興に向けての考え方

- ▶ 安全で安心な防災都市・地域づくりによる復興を実現する。
- ▶ 「ふるさと」が「ふるさと」であり続けることのできるよう、地域社会づくりを通じた復興を実現する。
- ▶ 被災者一人ひとりに寄り添う人間本位の復興を実現する。
- ▶ 三陸の海が持つ多様な資源や潜在的な可能性などの特性を生かした復興を実現する。
- ▶ 多様な参画による開かれた復興を実現する。

また、復興に向けた歩みを進めるに当たっては、まず、「安全」を確保した上で、被災者が希望をもって「ふるさと」に住み続けることができるよう「暮らし」を再建し、「なりわい」を再生することを復興の原則に掲げています。

#### 復興に向けた3つの原則



ここからは、3つの原則に基づいた復興を実現するための具体的な取組について、「あなたから見た重要度」と「あなたの復旧・復興の実感」についてお伺いします。

「あなたから見た重要度」では、現在のあなたにとって、調査項目がどれくらい重要であるかをお答えください。

「あなたの復旧・復興の実感」では、あなたから見て、調査項目がどれくらい復旧・復興していると感じるかをお答えください。

なお、ご回答が困難な項目については、「わからない」とし、数字の「0」に○印をつけてください。

(1) まず、県内全般の復旧・復興に向けた取組に関連する項目についてお伺いします。

あなたの身のまわりを見回してみて、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

調査項目		あなたから見た重要度 (各調査項目について1つずつ選び、番号に○をつけてください。)						あなたの復旧・復興の実感 (各調査項目について1つずつ選び、番号に○をつけてください。)					
		重要である	やや重要である	ない	どちらともいえ	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	進んでいると感じる	やや進んでいると感じる	ない	どちらともいえ	やや遅れていると感じる
「安全」の確保	1 災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	2 放射能への安全対策	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目		あなたから見た重要度 (各調査項目について1つずつ選び、 番号に○をつけてください。)						あなたの復旧・復興の実感 (各調査項目について1つずつ選び、 番号に○をつけてください。)					
		重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	進んでいると感じる	やや進んでいると感じる	ない	どちらともいえない	やや遅れていると感じる
「安全」の確保	3 震災の記憶を 未来に語り継ぐ ための取組	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	4 災害時にも使 える信頼性の高 い道路網の整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
「生活」の再建	5 災害時におけ る高齢者や障が い者を支援する 体制づくり	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
「なりわい」の再生	6 地域の特性を 生かした農林水 産業の振興	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	7 ものづくり産 業（製造業）の 集積、新産業の 創出	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	8 観光客の回 復・増加	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(2) 次に、**震災により大きな被害を受けた地域の復旧・復興に向けた取組**に関連する項目についてお伺います。

**震災により大きな被害を受けた地域にお住まいの方**は、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

**それ以外の方**は、震災により大きな被害を受けた地域の状況などを思い浮かべてみて、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

調査項目		あなたから見た重要度 (各調査項目について1つずつ選び、番号に○をつけてください。)						あなたの復旧・復興の実感 (各調査項目について1つずつ選び、番号に○をつけてください。)					
		重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	進んでいると感じる	やや進んでいると感じる	ない	どちらともいえない	やや遅れていると感じる
「安全」の確保	1 防潮堤や防波堤などの整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	2 JRや三陸鉄道などの鉄道網の復旧	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
「生活」の再建	3 被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	4 震災による離職者の再就職に向けた取組	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	5 被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたから見た重要度 (各調査項目について1つずつ選び、 番号に○をつけてください。)						あなたの復旧・復興の実感 (各調査項目について1つずつ選び、 番号に○をつけてください。)						
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	進んでいると感じる	やや進んでいると感じる	ない	どちらともいえない	やや遅れていると感じる	遅れていると感じる
「生活」の再建	6 被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	7 被災地の健康づくりやこころのケアの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	8 被災した学校施設等の復旧・整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	9 被災した伝統芸能団体の再興	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	10 被災した公民館、図書館の復旧・整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	11 被災したスポーツ・レクリエーション施設の復旧・整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0



調査項目		あなたから見た重要度 (各調査項目について1つずつ選び、 番号に○をつけてください。)						あなたの復旧・復興の実感 (各調査項目について1つずつ選び、 番号に○をつけてください。)					
		重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	進んでいると感じる	やや進んでいると感じる	ない	どちらともいえない	やや遅れていると感じる
「生活」の再建	12 被災地域のコミュニティ活動 (自治会、町内会など)の活性化	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	13 被災した市町村の行政機能の回復	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
「なりわい」の再生	14 被災した漁船や養殖施設などの復旧・整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	15 被災した漁港の復旧・整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	16 水産加工品の製造再開や県内外での販売の回復	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	17 被災した農地などの復旧・整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたから見た重要度 (各調査項目について1つずつ選び、 番号に○をつけてください。)						あなたの復旧・復興の実感 (各調査項目について1つずつ選び、 番号に○をつけてください。)						
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	進んでいると感じる	やや進んでいると感じる	ない	どちらともいえない	やや遅れていると感じる	遅れていると感じる
「なりわい」の再生	18 被災した木材加工施設などの復旧・整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	19 被災した商工業者の事業の再開	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	20 被災した商店街の再開、新たな商店街の整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
	21 被災した観光施設の復旧	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

## 問6 復旧・復興に向けた優先施策について

県では復興計画を進めるため、3つの原則のもとに10分野の取組を位置付け、**22の取組項目**を展開しています。

ここでは、22の取組項目について、**あなたにとっての優先度**をお伺いします。

あなたは復旧・復興を進めるために優先的に進めて欲しい施策について、次の項目**(22の取組項目)**の1から22のなかから**3つ**選び、番号に○をつけてください。

1から22のなかから3つ選び、番号に○をつけてください。

	10 分野	22 の取組項目		
「安全」の確保	I 防災のまちづくり	災害に強く安全で安心な暮らしを支える防災都市・地域づくり	1	
		故郷への思いを生かした豊かで快適な生活環境づくり	2	
	II 交通ネットワーク	災害に強い交通ネットワークの構築	3	
「暮らし」の再建	I 生活・雇用	被災者の生活の安定と住環境の再建等への支援	4	
		雇用維持・創出と就業支援	5	
	II 保健・医療・福祉	災害に強く、質の高い保健・医療・福祉提供体制の整備	6	
		健康の維持・増進、こころのケアの推進や要保護児童等への支援	7	
	III 教育・文化	きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実	8	
		文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承	9	
		社会教育・生涯学習環境の整備	10	
		スポーツ・レクリエーション環境の整備	11	
	IV 地域コミュニティ	地域コミュニティの再生・活性化	12	
	V 市町村行政機能	行政機能の回復	13	
	「なりわい」の再生	I 水産業・農林業	漁業協同組合を核とした漁業、養殖業の構築	14
			産地魚市場を核とした流通・加工体制の構築	15
			漁港等の整備	16
地域特性を生かした生産性・収益性の高い農業の実現			17	
地域の木材を活用する加工体制等の再生			18	
II 商工業		中小企業等への再建支援と復興に向けた取組	19	
		ものづくり産業の新生	20	
III 観光		観光資源の再生と新たな魅力の創造	21	
		復興の動きと連動した全県的な誘客への取組	22	

## 問7 地域での行動について

ここからは、地域での行動についてお伺いします。

(1) 隣近所とのお付き合いについてお伺いします。

あなたは、隣近所など地域の人たちとの付き合いをお持ちですか。以下のそれぞれの項目について、「お付き合いの頻度」についてお答えください。

また、震災前（1年前）と比べた「お付き合いの頻度の変化」についてお答えください。

「お付き合いの頻度」／「お付き合いの頻度」の変化  お付き合いの種類	お付き合いの頻度 (各調査項目について1つずつ選び、番号に○をつけてください。)				お付き合いの頻度の変化 (各調査項目について1つずつ選び、番号に○をつけてください。)				
	ほぼ毎日	週に数回程度	月に数回程度	ほとんどない	増えた	増えた どちらかというところ	変わらない	減った どちらかというところ	減った
① 道であったらあいさつをする	4	3	2	1	5	4	3	2	1
② 困りごとや悩みごとを相談し合う	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③ 家族（子ども、お年寄り、病人）の世話を頼む（頼まれる）	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④ 食べものなどをおすそ分けする（される）	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤ 留守をするときを声を掛け合う	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥ その他 ( )	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(2) 地域の活動についてお伺いします。あなたは、地域の活動に参加していますか。以下のそれぞれの項目について、「活動の頻度」についてお答えください。また、震災前（1年前）と比べた「活動の頻度の変化」についてお答えください。

「活動の頻度」／「活動の頻度」の変化  活動の内容	活動の頻度 (各調査項目について1つずつ選び、番号に○をつけてください。)			活動の頻度の変化 (各調査項目について1つずつ選び、番号に○をつけてください。)				
	ほぼ毎回参加する	たまに参加する	参加してない	増えた	増えた どちらかというところ	変わらない	減った どちらかというところ	減った
① 避難訓練・防災訓練など防災に関する地域活動	3	2	1	5	4	3	2	1
② 自治会活動などの地域活動	3	2	1	5	4	3	2	1
③ 子どもの見守りや健全育成の活動	3	2	1	5	4	3	2	1
④ 高齢者や障がい者の見守りや手助け活動	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤ お祭りなどの地域行事イベント	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥ 趣味や健康づくりなどの活動	3	2	1	5	4	3	2	1
⑦ その他 ( )	3	2	1	5	4	3	2	1

ご協力ありがとうございました。

2月20日（月）までにご投函くださるようお願いいたします。